薫　風

特別養護老人ホーム 銀砂台
発　行：社会福祉法人松濤会
特別養護老人ホーム銀砂台
発行日：令和５年８月20日

令和5年3月に竣工した太陽光自家発電設備の全景

災害に強い施設を目指す

特別養護老人ホーム銀砂台
生活援助統括　木場　泰典

2021年の介護報酬改正により、2024年4月までの猶予はあるものの、介護事業所においても事業継続計画（BCP）の策定が義務付けられました。当施設においては、令和3年度に設置した非常用自家発電ユニットに引き続き、本年2月にいばらきエネルギーシフト促進事業補助金を活用し、屋上に最大出力65kWhの太陽光発電システムを設置しました。65kWhの発電能力では、晴れていれば真夏や真冬の冷暖房をフル稼働する時期でなければ当施設で通常使用する電気を全てまかなうことができます。

補助金の本来の目的である光熱費の削減効果が得れられるとともに、有事の際に事業継続が求められる介護事業所として、電力復旧するまでの期間、利用者様の命を最優先とし、暮らしの根幹となるライフラインの維持継続が最重要となると考えられます。太陽光発電システムを導入することにより、また一つ事業継続のためのツールが増え、より災害に強い施設に近づいたと思います。

コロナが感染症法上5類に移行し、世間での危機意識が薄れ始めていることを危惧しております。災害とは地震や風水害のみだけでなく、感染症も高齢者施設にとって大きな脅威となり得ます。常日頃から、有事の種別や規模別に発生した際にどのような行動をするべきか想定・訓練を行い、利用者様のみならず職員の命を守り、被害を最小限にとどめるよう努めて参ります。

銀砂台　本園

介護老人福祉施設／短期入所生活介護

ワークライフバランスに配慮した職場環境への取組み

介護休業制度を利用して

2階フロアリーダー
山内　清美

私の母親は、現在84歳です。2022年７月28日の朝、ベッド上で動くことができなくなり、救急車で搬送され腰椎圧迫骨折と診断があり、入院することになりました。この時期は新型コロナの第７波の期間で病院での面会は禁じられており、ベッド上の生活となった母の心身状態は、徐々に悪化していきました。

入院から４か月を過ぎようとした頃、病院から「そろそろ退院できますが、自宅での介護は難しいでしょう。」と話がありました。私は悩みました。私の職業は介護士です。急に骨折で入院し、親孝行も全然できずにそのまま施設へ入所してしまうなんて…。ですが私は仕事をしています。退職して母の介護をすべきか…。沢山悩みました。そして、考えた結果、「介護休業」を利用することに決めました。

いざ退院となると自宅での準備が必要です。必要な福祉用具をレンタル・購入し、母を迎えました。自宅へ戻った時、母は要介護４の認定を受けており、トイレに行くことはもちろん自分で歩くこともできずオムツを使用していました。認知機能も低下していたため、家族の名前も思い出せない状態でした。

私はそんな母と24時間寄り添い介護をしました。自尿がなくても３時間おきにトイレに座らせ脳に刺激を与えていました。すると、２週間後にはトイレで排泄することが出来るようになり、それと同時に下肢筋力もついて手引き歩行で歩けるようにもなりました。退院時は家族の名前も忘れていましたが、親戚や孫・ひ孫がよく会いに来てくれたおかげで活気も出て、食欲もわき、記憶力もつくようになってきました。

天気がいい日には母と２人で散歩やドライブをして、大好きだった歌をBGMに慣れ親しんだ景色を見ながら昔話をし、記憶を思い出させていました。２か月を過ぎる頃には、母親らしい生活リズムが維持され自己主張も出てくるようになりました。そして退院から73日目に施設への入所が決まりました。

今回、介護休業制度を利用させていただきましたが、この制度は、労働者の「介護離職者ゼロ」を目指すためのものです。とはいえ、人手不足や取得の前例がない等の理由で、利用しにくいケースもあるかと思います。ですが、私の場合はそのような心配はありませんでした。「共働きをして親の介護ができない」「悔いのないよう親孝行がしたい」という私の気持ちを理解し、快く受け入れ復帰後も以前と変わらず待遇してくれた職場の皆様に感謝をしたいと思います。これからは、皆様の恩を忘れず、ご家族様に代わり利用者様の介護に務めさせていただきたいと思います。

ありがとうございました。

～介護の仕事について～

銀砂台「本園」では、2人の外国人が介護の正職員（特定技能）として勤務しています。入職から約１年が経ったので、感想を聞いてみました。

カオ シ アン

私が介護の仕事を選んだ理由は２つあります。１つは年寄りのかたと会話する機会が多く日本語の上達に繋がると思ったからです。２つめは、ベトナムでお年寄りのかたのお世話をした経験から、少しでもお年寄りのかたのお手伝いができる仕事がしたいなと思ったからです。お世話をするのに日本語で上手く伝える事ができなくて大変でしたが今では一人で任される仕事も増えてきました。これからは早番の仕事も覚えて他の社員の人と同じような働きが出来る様に頑張ります。（本人談）

ズウン タン タム

仕事にも慣れてきて、日本語も少しずつ上達してきているので毎日楽しく仕事をしています。「お風呂の仕事が一人で出来る様になる」を目標に１年間頑張りました。今では一人で出来る様になりました。

これからも利用者さんに怪我をさせないように気を付けて楽しくお風呂に入ってもらえるように頑張ります。次の目標は日本語の読み・書きをもっと勉強して「タブレット端末への入力ができるようになる」です。頑張ります。（本人談）

松濤会ニュース

銀砂台MVP制度を創設しました！

職員の資質・モチベーション向上を目的に、銀砂台MVP制度を創設しました。第1回目のMVPは、対象者はありませんでしたが、優良職員（MVP候補者）として4人の表彰を行いました。

4人を代表して、看護師の大坪からご挨拶をさせていただきます。

看護師　大坪 ゆり子

このたび素晴らしい賞をいただき、ありがとうございました。賞状をいただくのは卒業証書以来かと思います。

職員皆さまの温情あるお気持ちをいただきました。また、もう少し頑張れとエールを贈られているようにも感じました。2度目の定年を迎え、まだ働かせていただいていることに感謝し、働かせてもらっている以上は、前向きな姿勢で励んでいきたいと思います。

ありがとうございました。

令和4年度優良職員 4人

前列右から、石川雅裕（本園）、山名花穂（本園）、大坪ゆり子（サテライト）、冨田裕人（本宮町クラブ）

銀砂台「助川サテライト」　地域密着型特別養護老人ホーム

リリーこども＆スポーツ専門学校より実習生8名が来園しました

久しぶりの実習生の受け入れとなりました。

受け入れ目的としては、地域密着型の介護施設の見学を通して、施設の概要、利用者の全体像などのイメージを捉えることが目的です。

実習を通して感じた雰囲気、学んだ知識、コミュニケーション技法などを振り返りの材料として活用していただき、今後の介護福祉に活かして頂ければと思います。

実習の様子

100歳を迎えた長澤みさこ様へ

百寿のお祝いを申し上げます。

これからも長澤様にとっての人生が、健やかで輝かしいものとなりますように、職員一同願っております。

また、長澤様の人生の素敵なエピソードになるよう、職員一同これからもケアに励んでいきます。

（久しぶりに実施した対面式面会においての記念撮影）

夜間避難訓練

今回の想定は、2階からの火災であったことから、まず2階入居者の避難誘導を優先的に行い、消防の到着を待ちながら他フロア入居者の安全確保に努めることとしました。車椅子利用者の階段での避難介助方法（昇り降り）の実践は職員4名で車椅子に乗った職員を前後左右で持ち上げ、階段を実際に昇降しました。昇る時より、降りる時の方が、恐かったり、やり方が難しいとの声が上がりました。

新人紹介

介護職員
高野　由香

1月に入社しました。入居者様が安心して生活できるよう、今までの経験を活かし頑張りたいと思います。

介護職員
グウェン タン サン

8月1日から入職しました。

私の名前はグウェン　タンサンです。ベトナムから来ました。介護の仕事や日本語を覚えて、日々上達できるように頑張っていきたいです。

よろしくお願いします。

居宅介護支援事業所 銀砂台

TEL：0294－33－6363

３人体制になりました！

今年度から新たにケアマネジャーが1名増え、居宅介護支援事業所銀砂台は、3人体制になりました。
今後も、住み慣れた街で過ごす事ができるよう、支援していきます。

吉家（きっか）　雅史（まさし）

令和5年4月1日に入社しました、吉家雅史と申します。これまでは、特別養護老人ホームで介護職員として働いていました。

ケアマネジャーとして、利用者様が、ご自宅での生活を続けていくためのお手伝いが少しでもできるよう努めさせて頂きますので、お気軽にご相談ください。

まだまだ不慣れな点も多いですが、よろしくお願いいたします。

地域包括支援センター　銀砂台

TEL：0294－33－6500

包括ニュース

長男が産まれパパ育休取得!!

飛田　遥大
（主任補・社会福祉士）

日頃よりお世話になっております。地域包括支援センター銀砂台、緑服の人、飛田です。

この度、長男を授かり父になりました。現在はパパ育休を施設からいただき、子育てに没頭しております。命の重さを日々感じ、育児の大変さを痛感している最中です。可愛さだけでなく、大変さも夫婦で共有し日々成長していくことを楽しく感じております。今後も、世の父たちが母たちと共に育児ができ、パパ育休を取りやすくなるように頑張ります。

世の父親達へ、育児を女性だけがする時代は終わりました。（母より父ができることは少ないですが）

仕事に関してもより一層励み、精進して地域の皆様に還元できればと思いますので今後ともよろしくお願い致します。

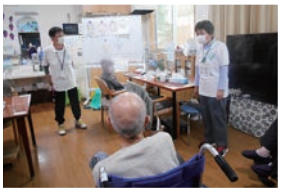
地域ケア個別会

５月に地域ケア議個 別会議を開催しました。

今回、初めて薬剤師の方に事例を提供してもらい、専門職の垣根を越えて民生委員や地区社協、各事業所、医療機関等の皆様と事例検討を行うことができました!!

銀砂台「鹿島町クラブ」　小規模多機能型居宅介護事業所

❖ シルバーリハビリ体操



照りつける夏の暑さや、じめじめとした雨模様、そんな天候の変化が激しいこの季節。年々、歳をとるにつれ、身体を動かすのが億劫になってしまうものです。そんな中、鹿島町クラブでは体操は毎週木曜日 11:00 から少しの時間ではありますが、宮田のシルバーリハビリ指導士会の指導員を招いて、シルバーリハビリ体操を行っております。皆様元気に身体を動かして、健康を保てるよう頑張っております。

❖ おしゃべりクッキング

本園の畑で太陽の光をいっぱいに浴びた新鮮な野菜を頂戴し、鹿島町クラブのキッチンで和気あいあい楽しみながら、利用者様と旬の料理やおやつ作りを行っています。利用者様は職員よりも主婦歴が長くベテランなので、料理は今でもお手の物、割烹着姿も板についています。

おしゃべりクッキングは毎週開催し、料理を作るのが好きな利用者の皆様からも食べる専門の利用者の皆様からも大好評のイベントとなっています。

新人紹介

酒井 恭子（介護職）

昨年８月に入職しました。御利用者様が楽しく安心して過ごせるよう頑張ります。

小池 智裕（管理者心得）

昨年９月に入職しました。小規模多機能型居宅介護支援事業所は初挑戦です。ケアマネジャーの業務には少しブランクがありますが、地元で働ける事に感謝をしながら、ご利用者様、ご家族様の望む暮らしを出来る限り実現できるように努めさせていただきたいと思います。

小林 真理（介護職）

令和5年2月入職しました。介護の仕事は少しブランクがあります。利用者様の笑顔がたくさん見られるようなサービスを提供できるよう、お手伝いさせていただきます。

ブダマガル ライ クマリ（介護職）

私は、ネパールから来ました。今、日立さくら日本語学校で勉強しています。趣味は音楽を歌うことと、ダンスをすることです。好きな食べ物が日本の天ぷらとネパールの桃です。どうぞよろしくお願いします。

銀砂台「本宮町クラブ」　小規模多機能型居宅介護事業所

❖ 外出レクリエーション（かわプラザ）

令和5年5月に、道の駅常陸大宮（かわプラザ）に出かけてきました。田園風景を眺めながら芝生広場でのんびり寛ぎました。

館内に移動し、地元産のそばやフルーツのジェラートを味わいました。最後に、川面を渡る涼しい風を感じながら、七夕飾りをバックに記念撮影をしました。

利用者様からは、「久しぶりに外出できて良かった」「大自然の中でリフレッシュできた」等の感想が聞かれました。

❖ 書道教室の再開

新型コロナの流行により中断していた書道教室を再開しました。久しぶりにボランティアの先生に来ていただき、先生の指導を受けながら、緊張感と先生とのやりとりを楽しみました。

❖ 防犯訓練を行いました

昨年度に引き続き、防災訓練を行いました。今回は、「2階から不審者が侵入」という想定で行い、男性職員が不審者に扮し利用者の避難誘導や通報訓練、不審者への対応や役割を決め、1つ1つの行動を確認しながら訓練を行いました。今後も利用者様の安全を守れるよう定期的に訓練を行っていきたいと思います。

祝 資格試験合格！

社会福祉士合格

関口　陽祐

私は、社会福祉士を今年取得しました。取得してからは地域ケア会議に参加しています。参加することで地域での多職種連携を学びました。その学びを活かし、施設の中で専門職と連携を行い利用者様への支援につなげていきたいと思います。そして、利用者様が幸せに生活できる支援を行える社会福祉士になれるよう頑張ります。

介護福祉士合格

冨山　美咲

この度、介護福祉士に合格しました。一年間勉強したことで、これまで先輩方から教えていただいた知識や技術のほかに、より深く介護について学ぶことができました。今後は、勉強で得た知識を現場で活かし、利用者様一人ひとりがその人らしく安心して過ごしていただけるよう、ケアのできる介護福祉士になっていきたいです。

介護福祉士合格

阿久津 裕子

介護の仕事をするにあたり、勉強の必要性を感じ資格取得に挑戦しました。勉強したことを実践に生かし、利用者さんが笑顔で過ごすことができるよう支援していきたいと思います。

認知症基本法の成立

「認知症基本法」が施行された。長年待たれたものだった。国として「認知症」にどう向き合うか、を示したことは、大変時宜にかなったことで、共に喜びたいところである。

ただ、その「基本理念」の中に欠如していると思われることがあるのは、大変残念である。全部で７項目ある理念は、「認知症」を理解し、その方々の社会生活の中で、尊厳を保って暮らせるように支援しようというのが本旨である。それはその通りなのだが、そうゆう支援の基本をなす意思の底には「尊重」あるいは「敬意」がなくてはならない。その上に「尊厳」がある。その辺りを噛み分けた条文にしてもらいたかったと思う。そしてそうゆう条文によって、国民は「認知症基本法」の心を感じ取ってゆくのではないかと思う。認知症を支えるのは「心」である。上辺だけの物にしてはならない。（M）

令和４年度決算報告書（令和５年３月３１日現在）

資金収支決算書

単位：千円

貸　方（収入）		借　方（支出）	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
事業活動収入	539,772	事業活動支出	493,197
施設整備等収入	7,680	施設整備等支出	36,826
その他の活動収入	9,680	その他の活動支出	106,288
		当期資金収支差額	－79,179
合　計	557,132	合　計	557,132

事業活動収支決算書

単位：千円

貸　方（収入）		借　方（支出）	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
サービス活動収益	537,226	サービス活動費用	511,697
サービス活動外収益	5,511	サービス活動外費用	1,185
特別収益	7,680	特別費用	7,680
		当期事業活動増減差額	29,855
合　計	550,417	合　計	550,417

貸借対照表

単位：千円

貸　方（収入）		借　方（支出）	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
流動資産	307,575	流動負債	49,089
固定資産	896,025	固定負債	47,263
		負債の部　合計	96,352
		純資産の部	
		基本金	39,920
		国庫補助金等特別積立金	150,053
		その他積立金	79,583
		次期繰越活動収支差額	837,692
		純資産の部　合計	1,107,248
	1,203,600		1,203,600

ご奉仕・ご寄附ありがとうございました

●団体

医療法人真寿会 西成田医院様
カットハウスフレンド様
茨城キリスト教大学様
オリエント・理容美容室様
医療法人英徳会 塩原歯科医院様
退職公務員連盟様
髪房仔馬様

●個人

木村　得敏 様（故木村由紀子様ご家族）
松本　定信 様
鈴木 美智枝 様
大塚　　尚 様
勝又　政則 様
茅根　欣子 様
蓼沼智代子 様